

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIG SUN RX 工法



熱血営業マン！
ダイニチくんの奮闘記

これからは
緑化が必要だが
工事とか大変そう
だしな...

それなら
大日化成の
「霧ヶ峰」は
いかがですか？

霧ヶ峰！

工事も
簡単だし
難航性に
すぐれて
いるので
安心です！

おっ！
これはすっごくいい！

下地調整の救世主！ 万能モルタル「BSラピタル・エース」販売開始

今回は皆様に、大日化成が長年培ったノウハウを活かし、ありとあらゆる現場の状況で広範囲に使用いただける、補修・改修・下地調整、万能モルタルBSラピタル・エースを開発し、販売開始させて頂くこととなりました。

現場施工の際にコンクリートの欠けや、ジャンカ等の補修、浮陸調整や接着モルタルとして万能に使えるプレミックスモルタルです。

厚み0.5〜30.0mmまで一発仕上げが出来ると同時に、施工後約2時間後で即硬化して強度を発現し、次の作業に移れると同時に圧縮強度・7日目で25.3N/mm²、28日目で約30.0N/mm²とすば抜けた高強度を発揮いたします。また即硬化性を保持しながら、乾燥収縮が比較的小さいことにより、収縮

クラック等の問題もなく、厚付けにも充分ご使用いただけます。各種改修現場や新築内外装工事設備工事、防水工事等で威力を発揮いたします。

「何を言いたいのかって？ マア騙されたと思って一度試してください」お使いになればその、品質の高さ、使い勝手の良さ、味わうと、きつと手放せなくなりません。

今までに、各種現場で本工事施工前に予期せぬコンクリート躯体のひび割れ、ジャンカ等で施工が開始できず、お困りになったことがありませんでしたか？

現場で事前打合せ時に発見できなかった浮陸で立ち往生することがありませんでしたか？

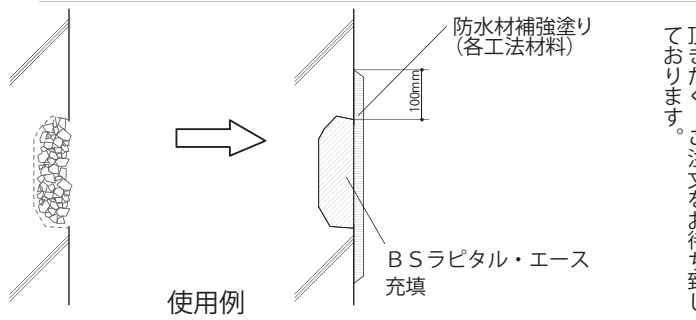
そんなときに、近くの建材屋さんに行きセメントと砂を買って性能がよくわからない急結材を混ぜて練り合わせてパッチングをしたり、表面シゴキをして

尚且つモルタルが乾くまで現場でやむを得ず、時間待ちというご経験がなかったでしょうか。

配管・設備工事等をするときに、僅かのモルタルが必要になり本来の配管工事の手を止めて、現場でモルタルを練って時間ロスを作ってしまったこともあったかも知れません。

内装施工時の少量の接着モルタルが必要なき、その他お困りの時には、このBSラピタル・エースが貴方の強い味方になること請け合いです。

これ以外にも、BSラピタル・エースの利用価値を見つけて出して引き出すのは、直接工事をされるお客様の腕次第と考えております。



こんなところで活躍しています

工場施設折板屋根 (VUS500)



新規建築や整備工事に伴う緑地(緑化)面積の規定において、壁面緑化も緑地(緑化面積)として多くの自治体が認めています。工場立地においても「工場立地法」に

建築物外壁に設置される壁面緑化は、大きく分けて「意匠性を重視したユニット式壁面緑化」と、「価格を重視したパネル式壁面緑化」に用途が分けられます。いずれの壁面緑化も、新規建築や整備工事に伴う緑地(緑化)面積の規定において、壁面緑化も緑地(緑化面積)として多くの自治体が認めています。工場立地においても「工場立地法」に

大日化成株式会社は、壁面緑化にこれまで培った屋上緑化技術に加え、防水材メーカーとしての建物への安全性、環境配慮を基本とした、植物も植栽メニューを指導をパッケージに提案できる体制を用意いたしました。これにより安心を感じていただける鍵をお渡しできる「霧ヶ峰壁面緑化シリーズ キーロック工法」が誕生させました。

その工法の特徴として、施工性の高いキーロック工法が工期の短縮と共に、壁面より5cm離してステーン



最大の特徴は、「積算」見積り現場打ち合わせ現場修正事務処理施工完了検査までの全行程を一式受注する責任受注、施工体制で、お客様の負担する手間を極力省いた責任施工方式です。何かと判り難い緑化工事。安心して任せられる手離れの良い壁面緑化を提供しています。

「霧ヶ峰壁面緑化シリーズ キーロック工法」は、この課題であったから、壁面緑化の導入の課題であった「価格」「施工性」「早期撤覆」「顧客サービス」を取り入れ誕生したシステムです。

最近のお問い合わせ者さまの特徴は、設備業、塗装業、防水業者等の緑化に関係の少なかつたお客様よりの依頼が多く寄せられます。受注環境の厳しさも広がり、みなさまの受注拡大のお手伝いとして、バックアップさせていただきます。

さらに、緑化植物種の選定も重要な問題です。霧ヶ峰壁面緑化シリーズでは、適する植物カタログを用意しています。早期緑化を期待する方には、ダイカカス、全面緑化には、ヘデラ種、花を四季咲いている壁面緑化にはクレマチス、その他花の綺麗な植物などの新鮮な壁面緑化の提案も併せて実施しています。

スカイレジン <下地調整剤>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマー-E
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN <土木用防水材>
ポリマーセメント系塗膜防水材

シーズン花壇
屋上緑化に四季の彩りを実現

霧ヶ峰壁面緑化シリーズ キーロック工法

商業施設・オフィスビル・工場などを対象にした安価で軽量の壁面緑化工法「霧ヶ峰壁面緑化シリーズ キーロック工法」を発売開始しました。

平成17年ベジルフユニット壁面緑化システムは、震災が発生しても崩落しない安全性を最優先に設計した壁面緑化システムとして、愛・地球博の壁面緑化通路「イオラング」の入り口に設置され信頼性の高さを評価されました。

緑地比率に壁面緑化部分の算入が認められております。さらに壁面緑化には、緑地基準を確保した上に、色々な品種の植物を使用し、緑のカーテン、カラーリーフを使った色彩豊かな緑化。さらに、バラ・ジャスミンなどの香りの植物を選べたりラック効果など用途を選びながら省エネ効果が発揮され、見える緑化景観とイメージの向上も相まって優れた壁面利用が増えています。

レスメッシュを設置します。このためメッシュに植物を絡ませる工法のため壁面とメッシュの隙間に熱い空気の排気層ができ、建物外壁に緑化の外断熱層を設置した効果となり、省エネ効果の高い壁面緑化工法となりました。また、オブション部品が多い壁面緑化に対応するため、周辺部材の強化も進め、特注SUS304ランタン、自動灌水装置もセットでご提案します。

頂きたく、ご注文をお待ち致しております。

映画で学ぶ 環境問題



レッドクリフ Part I & II

(原題：赤壁 / Red Cliff)

監督：ジョン・ウー
出演：トニー・レオン、金城武、チャン・フォンイー、チャン・チェン、中村獅童
制作：中国、香港、日本、韓国、台湾の合作
公開：2008～2009

「存じ中国の壮大な興亡史である『三国志』の内、赤壁の戦いを主軸としたスベクタクル映画。アクション映画で定評のあるジョン・ウー監督の下、国際的なアジアスターが見事な演技を見せてくれました。前後編288時間にも及び、1つ1つのシーンが丁寧に撮影されている、みどころ満載の映画です。

登場人物の中で注目すべきは、日本の国際スター金城武演じる「諸葛孔明（しょかつこうめい）」。

彼は人徳厚い主君、劉備

(りゅうび)のために軍師として活躍するのですが、当初は明らかに負け戦かと思われた不利な少数軍勢を、巧みな陣形と戦術、智恵により、提携軍の大將、周瑜(しゅうゆ)とともに宿敵、曹操(そうそう)を打ち負かします。

痛快さが際立つのは、足りない矢を調達するために「カカシ」をしつらえた船団を相手軍まで送り、10万本の矢を「頂戴」してくるシーン。濃霧の中ではカカシが軍勢に見えることから、相手軍が矢を射ってくるのを見込んでのことです。

ではなぜ孔明は、その日が濃霧になるのを知っていたのでしょうか？ 彼は空を仰ぎ「大蛇のごとき雲は、濃霧のきざし」とニマリするのですが、これは「天文地理、陰陽を知らず、太陽・月・星・風林火山・森羅万象を味方にできる」ということなのです。

同じようなことはクライマックスの火攻めの決戦でも繰り広げられます。西北の風が吹き、明らかに敵軍が有利と思える中でも、孔明は「東南の風が吹くと断言し、その予測通りに勝ち進むというシーン。『雲』を読み、風の戦いを予測し、天候を掌握したものが戦いを制す」まさに、古くから続く兵法の教え通りというわけです。

さて今回、「映画で学ぶ環境問題」にレッドクリフを取り上げたのは、「古来より人間が大切に生きてきた自然観測・宇宙観測」をテーマにするためですが、これは前回取り上げた映画「2012」からの流れでもあります。

自然や宇宙の観測を大切にすることが、つまり「自然や宇宙に対して尊敬の念を抱き、人間も、自然や宇宙と調和する」ということではないでしょうか。

「環境問題」の根本は、それを忘れたことから発生しているのではないのでしょうか？ つまり、「自然や宇宙は人間がコントロールするもの」といった傲慢な考え方が、自然破壊たる開発を進め、荒廃を招いたのだと。実際「環境と開発に関する国連会議(UNCED)、アース・サミット」でも、そういったことが主題となっているほどです。

レッドクリフでは、自然や宇宙と調和し、天候を掌握したものが戦いを制しました。それは同時に「人徳」や「正義」の勝利でもありました。現代の経済戦争では、どうなのでしょう？

今まさに、福島で起きている原発問題を見ても、おわかりの通り、自然やエネルギーをコントロールできると思い込んだ東電や日本人は、放射能汚染という危機的な状況を迎えました。

この難題を解決するのは、自然や宇宙との調和であり、人徳や正義をになう人々でしょう。そういったことを考えながら、レッドクリフのご紹介をさせて頂きました。史実映画としてはなく、エンターテイメントとして楽しめる5時間ですので、ぜひご覧ください。

大日化成が関わっているエコの取り組み

東日本大震災が起きてから1年以上たつたが、大震災をきっかけに、大変大きな衝撃を受けてきました。元々、地球環境に優しい建設資材のメーカーとして業務に取り組んでいて、津波で壊滅的に流された沿岸部への支援や、原発の放射能の問題で苦しんでいる地域の方々へのサポートを、どのようにすれば良いか、あらゆる手立てを考えておりました。

そんな中、弊社も所属している地元、大阪のろうたーグループに寄せられた義援金を基に、何か被災地のためにできることはないかと、声がかかったため、放射能も除去できる浄水装置を福島の各各種施設に設置するボランティアに大日化成が大きく関わることになりました。今回は、その経緯などを紹介したいと思います。

大震災の事後、放射能により、福島原発が放射能の結果、彼の家庭では水に対する不安が止まらないう状態です。特に乳幼児がいる家庭では、子供たちが安全な水を飲ませたいと、毎週約3万円近くの水(ベットボトル)代を使っているとも聞きました。



株式会社エコシステム 代表取締役 政淳 一様

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

いつもお世話になっております。大日化成株式会社 営業部の田中です。営業して、たまにお客様から驚かれる事があるのですが、大日化成の営業拠点は、大阪本社と東京支店の2箇所しか在りません。北海道から新潟県・長野県・静岡県辺りまでの東日本エリアを東京支店が管轄し、それより以西の沖縄県までの西日本エリアを大阪本社で管轄しています。大阪本社の場合、この西日本エリアを更に、「北陸・中部地区」、「中国地区」、「四国地区」、「九州・沖縄地区」の4つの地区に分けて、各営業マが地区担当という形で各地区を受け持っています。当然、遠方への営業を行う場合は宿泊を伴う出張になります。担当する地区によって多少の差はありますが、大体一ヶ月に2〜3回程度、担当地区への出張を行う事になります。よく地元関西地区のお客様からは「会社のお金でいろいろな処に旅行出来ていいねえ。」などと言われたりするのですが、実際やっている仕事の内容は、販売店や施工店の材料のPRや、現場調査、役所や設計事務所への設計活動等、移動距離が増えるだけで、関西で普段行っている営業と何ら変わりません。観光地を見物している余裕なんてほとんど無いのです。(なかなか信じられないのですが...) 出張に行った時の唯一の案



本社営業部 田中 章介



●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803



次号も お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>



Ecology

大日化成 ECOへの取り組み

大日化成株式会社は、環境に配慮した事業の推進を目指す企業として積極的にエコ活動に取り組み、地球環境の保全と向上に貢献していきます。